

男女共同参画週間の報告

毎年、「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である6月23日から29日の一週間は、「男女共同参画週間」です。市では男女平等・共同参画セミナーやパネル展示を行いました。



男女平等・共同参画セミナー 男女平等・共同参画ってなに?

第1回 6/19 (木)

男女平等・共同参画ってなに?

講師 安居 登さん
(国吉光徳保育園園長、光徳寺住職、元県男女共同参画推進員)

富山県男女共同参画推進員や高校教師をされていたときの経験、ご自身が経営される保育園の園長としての日々の出来事などの話の中から、男女の固定的役割分担意識の気づき、視点を変えて考えると見えてくること、そして今までと違う行動ができるようになるなど、自分らしく生きるためのヒントが満載の講座でした。

安居さんのユーモアあふれる軽快な語り口と含蓄のあるお話しに引き込まれ、うなずきや笑いが絶えない、あっという間の1時間半でした。



- 参加者からは、
- 「気付いたもん負け」、落ちていくゴミに気づいた人が捨てるなど気づいた人がしなければならぬ=負け、という発想
 - 「男らしい」とか「女らしい」とかが持つイメージが本当に真実なのか
 - 「0点の家と100点の家」では、声かけや考え方の違いで家族関係が0点にも100点にもなるということなど、身近な例えで話していただいたので解りやすかったとか、視点を変えて考える大切さに気づかされたなどの声がありました。

そして「家に帰ったら早速実践してみよう」、「いろんなことを考える時の視点が変わった」、「今日の話自分を他の人にも伝えていきたい」など、受講者それぞれの意識が変わり、男女平等・共同参画社会の実現に向けて、さらに一歩前進できた有意義な講座でした。

第2回 6/24 (火)

自治会へ女性も参画しよう!

話し手 石川 勢喜子さん
(高岡市人権擁護委員、元桐木町自治会長)
聞き手 須賀 泉美さん
(NPO法人Nプロジェクトひと・みち・まち)

「女のくせに…」の声を逆風ではなく追い風に、女性ならではの視点で自らの足で、地域の現状を確かめ、住民の声に耳を傾け、持ち前の決断力と行動力で防犯カメラの設置や町内道路の舗装、自主防災組織の立ち上げ、独居者の連絡名簿の作成などに取り組まれた、石川さんの自治会長就任期間中の実話をもとに、自治会への女性役員参画を呼び掛けられました。



話しあいでは、受講者から、それぞれの自治会の現状や問題点、女性の参画を促す方法、自治会が活性化するための方策などについて、様々な意見などが出されました。

また、既に女性役員登用を始めている自治会からは、男性会長の「副会長などの役員を引き受けてもらえば、自分が全面的に必ず支えるから」という力強い後押しで、副会長など数名の女性役員が誕生したというお話もありました。

石川さんからは、行き詰っている自治会をどうすればいいか、何が障害となっているのか、何をすれば乗り越えられるのかなどを考えるためには、意識調査などをして各々が問題意識をもつことから始めることがいいのではないかと。そして自治会の活性化は、ズバリ「人の集まり」がカギとなる等のアドバイスがありました。

今回の講座を通じて、自治会の中での考え方も少しずつ変わるのではないかと感じました。

パネル展示 期間：6月19日(木)～29日(日)

◆高岡市男女平等推進プラン後期事業計画—NEXTアクション100—
6つの視点(参画・地域・両立・男性・DV・推進)について紹介しました。

◆ワーク・ライフ・バランス
「仕事と家庭の調和」の推進について紹介しました。

会場 男女平等推進センターサロン、市役所1階ロビー、



センター企画講座 女性のための～自己尊重トレーニング～

- 第1回 7月6日 「わたし」を知ろう
- 第2回 7月13日 「わたし」の感情を受け入れよう
- 第3回 7月20日 「わたし」の価値観を見直そう
- 第4回 7月27日 「わたし」を大切にしよう



「ウィメンズカウンセリング富山」を講師に、自己尊重を4つのテーマで学びました。自己尊重とは、自分の意志や感情を大切に肯定することです。

今回は、ありのままの自分を尊重し受け入れることで、自分の存在価値を認められる考え方や、他者とのコミュニケーション方法を身につけるためのトレーニングを行いました。

自分が育ってきた過程の中で培われた自分を知り、いろいろな設問の答えを考えることで自分の奥深い気持ちを見つめ、自分を守るために他者との境界線を意識することなど、グループワークを通して丁寧に自分と向き合い、自分を大切に方法学びました。

～受講者の感想より～

- ☆ 出来事そのものが悩みになるのではなく、価値観がそうさせるのだとわかってよかった。
- ☆ 他人の感情に責任を持たなくていいと知って、少し楽になった。
- ☆ 心地悪いと感じた時は、境界線のことを意識してみたい。



高岡市DV対策関係機関連絡会開催

6月12日(木)に男女平等推進センター会議室で、高岡市DV対策関係機関連絡会を開催しました。警察署、県女性相談センター、児童相談所、民生委員児童委員協議会、人権擁護委員協議会、県厚生センター、市医師会、DV被害者自立支援基金パサパ、男女平等推進センターなど構成機関でのDV相談件数や対応状況などについて、報告や意見交換を行いました。

男女平等推進センターの平成25年度の全相談件数の内、DVが占める割合は61.7%で、年々割合が高くなっています。被害者が加害者から逃げた後には、住まいの問題や経済的問題、子どもの学校の問題など、自立に向けての様々な課題があることから、関係機関との一層の連携強化の必要性を確認しました。



男女平等推進センター目録抄



6月	7月
6月12日(木) 高岡市DV対策関係機関連絡会	7月3日(木) 男女平等EXPO高岡2014 実行委員会
19日(木) 男女平等・共同参画セミナー〔第1回〕 男女平等・共同参画ってなに?	6日(日) センター企画講座 自己尊重トレーニング〔第1回〕 「わたし」を知ろう
20日(金) 男女平等推進プラン情報誌「ありて」 第3回編集会議	13日(日) 自己尊重トレーニング〔第2回〕 「わたし」の感情を受け入れよう
23日(月) パネル展示(男女共同参画週間事業) ・高岡市男女平等推進プラン後期事業計画 —Nextアクション100—について	18日(金) 「ありて」第4回編集会議
29日(日) ・ワーク・ライフ・バランスについて	20日(日) 自己尊重トレーニング〔第3回〕 「わたし」の価値観を見直そう
24日(火) 男女平等・共同参画セミナー〔第2回〕 自治会へ女性も参画しよう!	25日(金) 話スペース「ほこ あ ほこ」
27日(金) 話スペース「ほこ あ ほこ」 女性が安心して話せる場	27日(日) 自己尊重トレーニング〔第4回〕 「わたし」を大切にしよう

高岡市は男女平等・共同参画宣言都市です。

「認め合い 支えあい 共に輝く ひととまち」をみんなで目指しましょう。

